

酵素が包むN.P.K⊕ケイ酸系土壌改良剤

B.B型

コーソ in ミネラ

# 酵素 in ミネラ

NET  
20kg



## 含有成分(%)

チッソ	リン酸	カリ	ケイ酸	苦土	鉄	石灰	マンガン	ホウ素 亜鉛 銅 モリブデン
3~4	2~3	1.5	20	6	10	15	3	

## 含有酵素・含有微生物

プロテナーゼ・アミラーゼ・カタラーゼ・セルラーゼ・キナーゼ・**光合成5倍酵素(Lsi1)**

好熱菌ホウジョウ $3.4 \times 10^8$ ・短杆菌バチルスナットウ $5 \times 10^8$

## 含有有機成分

アミノ酸	●プロリン ●ロイシン ●イソロイシン ●アラニン ●バリン
	●グリシン ●フェニールアラニン ●グルタミン酸 ●シスチン
	●リジン ●チロシン ●メチオニン ●アスパラギン酸 ●ヒスチジン
	●トリプトファン ●スレオニン ●セリン ●アルギニン
核酸塩基	●ウラシル ●アデニン ●チミン ●シトシン



サン化研株式会社

本社

〒589-0023 大阪府大阪狭山市大野台4-26-8  
TEL : 072-366-2012 / FAX : 072-367-3533

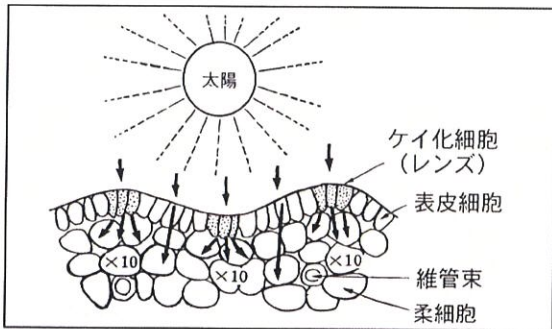
酵素が包むN.P.K⊕ケイ酸系土壌改良剤

# 酵素inミネラ

## 細胞膜貫通型酵素 (Lsi1)

### 光合成5倍力

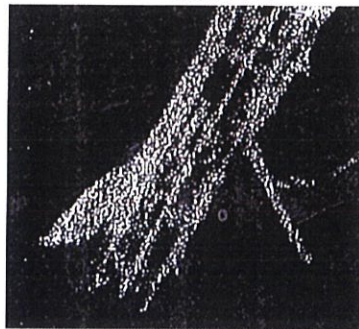
ケイ酸の光散乱効果  
(カウフマンの天窓仮説)



好熱菌：ハウジョウ  $3.4 \times 10^8$   
短杆菌：バチルスナットウ  $5 \times 10^8$

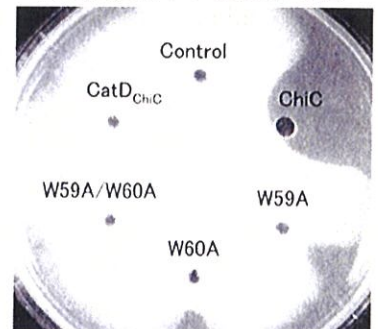
### サッチ分解力

酵素セルラーゼによる  
芝の分解写真



### 善玉菌化力

酵素キナーゼにより悪玉菌の  
厚膜表皮キチン質分解写真



## “酵素inミネラ”3つの特徴

特徴  
01

酵素inミネラのケイ酸は細胞膜貫通型酵素 (Lsi1) と複合化されています。結果、速やかに葉身レンズ (ケイ化細胞Si) として葉茎に点在させることが可能となります。このレンズで受光した太陽光は10倍になりますが、科学的分析考察をしますと光合成能力は5倍となりました。(参考資料：京大農 高橋英一)

特徴  
02

酵素inミネラの光合成能力で出来た糖は、酵素の関与でブドウ糖に合成され、作物の小細胞ミトコンドリアに取込まれてエネルギーを創生させてくれます。このエネルギーが永続的育成力として発揮し、良品多収穫に導いてくれます。

特徴  
03

酵素inミネラの微生物は短杆菌 (バチルスナットウ)  $5 \times 10^8$ 、好熱菌 (ハウジョウ)  $3.4 \times 10^8$  です。これら微生物が有する酵素は特に分解酵素としてセルラーゼ・キナーゼを含有しています。又、合成酵素としてはプロテナーゼ・アミラーゼ・カタラーゼを含有しています。これらの相乗作用によって、サッチ分解 (未分解物分解) はセルラーゼによって、又、悪玉菌抑制善玉菌化はキナーゼによってこれが役目を果してくれます。更に合成酵素の力で生育力を高めてくれます。結果サッチ分解力80%/6ヶ月、善玉菌化力 (開裂率) 60%/12ヶ月等々が実証されました。そして生育促進力で成長期を約10日早め、収穫は20%増収しました。

## 施肥基準

作物	施肥時間	施肥量	施肥ポイント
芝生	春 (3 ~ 6月)	30~50g/m <sup>2</sup>	全グラウンド表層施用
	秋 (9~10月)	30~50g/m <sup>2</sup>	全グラウンド表層施用
蔬菜 (果菜・根菜・葉菜)	元肥	100~150kg/10a	全圃施用後耕起混合
	追肥	1回当り 60~100kg/10a	畦面表層施用
水稻	元肥	60~100kg/10a	全層施用